

第4回 JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会

(1) 実施概要

実施日：平成25年3月13日 15時30分～16時25分

実施場所：宇都宮市役所本庁舎14C会議室

参加者：【委員】

学識経験者：山島会長（宇都宮共和大学教授）

関係団体：市村委員（JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会）、柿沼委員（特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構）、保坂委員（JR宇都宮駅西口構内タクシー協議会）、美野輪義光委員（築瀬地域まちづくり推進協議会）、山本委員（錦地域まちづくり協議会）、渡辺委員（宇都宮商工会議所）

行政機関：根岸委員（栃木県県土整備部都市計画課）、美野輪茂委員（栃木県総合政策部地域振興課）

公募委員：河原委員

【事務局】宇都宮市：総合政策部長、地域政策室長、中心市街地活性化推進室長、他3名

配布資料：第4回JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会 次第

JR宇都宮駅西口周辺地区整備懇談会委員 名簿

資料1 第3回懇談会からの修正点について

資料2 JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想（素案）に関するパブリックコメントについて

資料3 JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想（案）

参考資料1 JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想（案）概要版

次第：1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 第3回懇談会からの修正点について

(2) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想（素案）に関するパブリックコメントについて

(3) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想（案）について

4 その他

5 閉会

(2) 議事

1) 第3回懇談会からの修正点【資料1】について

- ・特に意見なし。

2) J R宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想(素案)に関するパブリックコメント【資料2】について 〈山島会長〉

- ・寄せられた意見を見ると、全体的にJ R宇都宮駅西口周辺地区をどうしていくかについての意見と、基本構想を検討している現時点では回答が難しい、今後事業が具体化する中で検討していくような意見という二つに大きく分かれていたと思う。基本構想の文言等の修正に関わるような意見は見られなかった。意見に対しては、基本的に基本構想に記載されており、後は具体的に検討を進めていくということで、案の修正には至っていない。

〈山本委員〉

- ・基本構想のパブリックコメントで寄せられた、市民の意見に対する回答としては、資料の通りでよいと思う。基本構想では、構想がある程度固まった段階に意見を聴取することでも構わないであろうが、基本計画では、計画が固まる前の早い段階で、パブリックコメントでなくても市民の意見を聞く方がよいと思う。基本計画の骨格が概ね決まってから、懇談会のような席で内容について検討するようでは困る。

〈山島会長〉

- ・特に地元との関係については、基本計画では緊密に議論し説明していくことになるだろう。基本計画の際に行われるパブリックコメントでも、様々な意見が出ると思うが、十分対応していただきたい。

〈山島会長〉

- ・パブリックコメントに対する対応は、このとおりに対応するという形でよろしいか。

〈全員〉

- ・了承

3) J R宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想(案)【資料3, 参考資料1】について

〈山島会長〉

- ・意見がないようであれば、基本構想(案)の内容はこのとおりに了承していただいてよろしいか。

〈全員〉

- ・了承

〈渡辺委員〉

- ・これで最終となるので、文言については事務局でよく確認してください。

4) J R宇都宮駅西口周辺地区について

〈山本委員〉

- ・第一に要望するのは、駅前の良好な景観形成である。駅前の再整備が具体的になって、建物が新しく更新されない限り、良好な景観は生まれないのだろうか。駅前の再整備には時間がかかるのかもしれないが、宇都宮の顔として、J R宇都宮駅西口の風格ある景観形成は、早急に実施していただきたい。基本計画が進まない場合でも、できることから進めていただきたい。

〈山島会長〉

- ・ J R 宇都宮駅の駅前が、全国で一番醜いという意見を聞いたことがあるが、看板を撤去するだけでも景観は大きく改善するだろう。駅前には、宇都宮だけでなく栃木県の顔でもある。よく私は仙台駅と宇都宮駅の駅前の写真を比較するが、駅を降りたときのイメージが大きく異なる。山本委員のご意見の通り、できることから駅前の景観の改善を進めていただきたい。

〈美野輪義光委員〉

- ・ 土地利用構想図の、東西基幹公共交通の想定ルートを見ると、現在駐車場がある箇所を通っているようだが、東西基幹公共交通が導入される際には、現在の駐車場は無くなるのか。

〈山島会長〉

- ・ 駐車場が無くなるかどうかの検討は今後であるが、土地利用構想の「①賑わい・交流ゾーン」に相応しい土地利用になるのではないかと。

〈美野輪義光委員〉

- ・ 東西基幹公共交通が導入されるか否かは、現在検討中であろうが、コの字型道路の整備が予定されている場所に、東西基幹公共交通の路線が整備されるのだろうか。

〈山島会長〉

- ・ 現在の道路をコの字型に真っ直ぐに整備し、交通処理がスムーズにいくようにするというのである。当然道路の幅員は広がるであろう。L R T が導入される場合には、その場所に L R T の路線も入ってくる。現在輻輳している交通の流れを、全体的によくするという事を考えている。

〈保坂委員〉

- ・ 山本委員の意見にもあったが、看板等の規制を条例などで行えるのであれば、行うとよいと思う。例えば、池上町地区では、看板の色など基準が定められていると聞かすが、そのような看板等の規制は、今から進めてもよいと思う。
- ・ 基本構想（案）15 ページ「地元権利者の合意形成や関係機関等との連携・調整」について、特に交通に関しては、技術的な部分は関係者に聞かないと分からない部分もあるであろうことから、関係団体等と情報交換を行ないながら進めていっていただきたい。

〈山島会長〉

- ・ 景観形成重点地区は、宮の橋以西の大通り沿いは指定されているが、宮の橋から東の J R 宇都宮駅西口周辺地区は指定されていない。その辺りをどうしていくかという問題もあるだろう。屋外広告物の規制についても考えていく必要がある。人目に付くところだけでも優先的に、景観整備を検討していく必要がある。
- ・ 道路に関しても、建物が建設されないと検討ができないというのではなく、現在の道路の動線を変えるなど、できることから少しずつ実施していく必要がある。

〈柿沼委員〉

- ・ 看板の問題は重視したい。宇都宮の特に交差点等の看板は目に余る。本日懇談会の会場に向かう途中にも、看板掲示募集の表示があったが、景観の面から中止していただきたい。宇都宮市は北関東随一の都市であり、表玄関であるので、景観だけでも、今よりすっきりしたものにしていただきたい。

〈山島会長〉

- ・ 一案であるが、看板が乱立する場所に植樹することも考えられる。景観形成重点地区に指定する、屋外広告物の規制をするという方法もあるが、地域の人が自主ルールを作成するという方法もある。

市が景観整備を行うというのではなく、各自が宇都宮の玄関口という意識を持ち、実際に土地を所有している人とも連携しながら整備を進めていくことになると思う。

〈市村委員〉

- ・景観の話も重要であるが、JR宇都宮駅西口地区まちづくり協議会の立場としては、事業を早く具体化していただきたい。建物が新しくなり、駅前が変わっていくことが一番望ましい。先日市長から、「時代の流れが早いので、事業を早く進めていきたい」という話を聞き、心強く思っている。

〈河原委員〉

- ・基本構想は、効率化、高度利用といった方向性とは違った形で進めていくのであろう。事業の具体的な主人公を誰にするのか。駅の利用者なのか、地元の人なのか、地権者なのか、JRに入っているテナントなのかを考える必要がある。
- ・景観については、具体的なイメージを明らかにして、提案していくことが今後重要になると思う。
- ・交通弱者という表現が基本構想（案）に含まれているが、具体的にどのように対応していくのか。
- ・ネットワーク型コンパクトシティの話は、今後新たに考えていく必要がある。

〈山島会長〉

- ・事業の主人公を誰にするかというご意見について、様々な人がいるが、例えば自家用車で駅に行こうとする人と、LRTで駅に行こうとする人とは意見が異なるだろう。実際に計画を進める際には、様々な利害が発生するだろう。一部の人の意見だけで進めてしまうのはよくないので、相反する意見を調整し、様々な意見があることをよく踏まえて計画を進めていただきたい。
- ・具体的なイメージについて、もし今回のパブリックコメントで具体的なイメージ図を出したとしたら、膨大な意見が集まり、収集がつかなくなっただろう。具体的なイメージを、いつどのように提示していくのか、少しずつ多様な人の意見を聞きながら提示していく工夫が必要である。

〈美野輪茂委員〉

- ・地域振興の観点から意見を述べると、まちづくりを進めるに当たっては、単なるハードの整備だけでなく、コミュニティの整備、デザインを考え、住民に意見を出していただき、それを皆が納得できる形で計画に反映させて進めていくことが重要である。そうでないと、ハード整備だけが成功しても、結果的には使い勝手の悪い空間が生まれかねない。計画が具体化されていく中では、実際に空間を使う人の意見を聞きながら進めていくとよいと思う。

〈山島会長〉

- ・美野輪委員のご意見の通り、住民や関係者の意見は十分聞くべきだと思うが、地区を利用しようと思っている人や通勤客など、なかなか意見を聞くことができない人もいる。意見を聞きやすい人の意見だけで計画が決定してしまう恐れがある。例えば地権者の意見だけを聞くと、再開発事業で容積率を大幅に高くしようということになるかもしれない。関係者だけでなく、利用者、来訪者を踏まえた全体的な観点で計画を進めていただきたい。

〈根岸委員〉

- ・今後、基本計画や事業計画の策定を行っていくと思うが、今後の進め方として、JR宇都宮駅西口と東口の情報を同時進行で提供していただきつつ、手戻りのないようにJR宇都宮駅周辺の全体計画を立てていただきたい。その際、ハードとソフトの整備を合わせてどのように進めていくかが分かる、ロードマップのようなものを作成していただきたい。例えばハード整備であれば、どういう手順、段取りで進めていくか等、大まかな時間軸と優先順位が書き込まれた資料があると望ましい。

〈山島会長〉

- ・実際には駅東西を併せて計画の検討をしていくと思う。パブリックコメントでも駅東西をどうしていくのかという意見がある。今すぐの話ではないと思うが、基本計画の段階では、駅東西をどのように考え、進めていくのか、検討していただきたい。

〈山本委員〉

- ・駅前のこのような計画は、土地の所有者、権利者が多くなかなか進まないと思う。計画の実現を急ぐためには、まず、区域を市の土地にすることを検討したほうがよいのではないかと。地域の人の意見を聞きながら計画を進めたのでは、膨大な時間がかかるのではないかと。例えば駅東口は市の土地である。市の土地であれば、計画と資金の話が固まれば、早急に事業を進めることができると思う。

〈山島会長〉

- ・事業化が決定すれば、市は土地を購入することが可能だが、使用目的が曖昧なままでは、市は土地を購入することができない。

〈山本委員〉

- ・まず市が土地を買収してこそ、事業計画が実現性を帯びるのではないかと。

〈山島会長〉

- ・土地を所持していれば事業を行いやすいことは確かであるがなかなか困難である。昔は市の土地開発公社が土地を購入して事業を進めていたが、今はそのような時代ではない。例えば道路であれば道路計画、駅前広場であれば駅前広場計画を都市計画決定し、その部分の土地を市が購入することはできるだろう。貴重なご意見としてお聞きしたい。

〈渡辺委員〉

- ・まちづくりの基本方針を示す基本構想であれば、本日提示された基本構想（案）のような内容になるのであろう。パブリックコメントで出た意見を見ても、具体的な計画が決まらないと回答しづらいのであろう。今後基本計画、事業計画策定の中で、具体的な事項は詰めていくことになるのだろう。私は、交通、空間、駅前広場の広さ、景観、都市機能など、基本構想に盛り込むべきことは本日提示されている基本構想（案）に盛り込めており、方向性が示せていると思う。

〈山島会長〉

- ・もともとJR宇都宮駅西口周辺地区は、東西二つのコアの中心でありながらも、コアのイメージが無かった。今回基本構想の策定を通して、ある程度コアのイメージが提示でき、それを元に具体的な行動が行えるという意味で、意味のある構想であったと思う。

(3) 連絡事項、今後のスケジュール

〈事務局〉

- ・会議録は事務局が作成し、後日各委員に送付する。修正がある場合には、事務局にご連絡いただきたい。
- ・本日配布した資料は会議録と併せてホームページに公表する。
- ・基本構想を3月末に策定し、公表することを予定している。

(4) 岡本総合政策部長より挨拶

- ・山島会長をはじめ委員の皆様には、昨年8月から4回に亘る懇談会にて、貴重なご意見をいただき

た。J R宇都宮駅西口周辺地区の整備は、本市の発展に寄与する重要な事業であると認識している。特に本日委員の皆様から伺った「基本計画を策定する前であっても、ソフト面で取り組むことができることがある」という意見については、庁内で引き続き検討し、順次可能な取り組みを進めていきたい。基本構想を踏まえ、今後も広域的な交流拠点にふさわしい、活力と魅力ある街に向けて、官民一体となってJ R宇都宮駅西口周辺地区の取り組みを進めていく。委員の皆様には、今後も取り組みを見守っていただき、市政全般についてもご意見・ご指導賜りたい。

以上